



青根地域の公共施設を有効活用した事業提案募集及び トライアル・サウンディングの結果概要を公表します

本市の青根地域は、自然豊かな中山間地域に位置している中で、少子高齢化・人口減少といった課題があり、廃校となった旧青根中学校等の利用について有効活用方を模索するなど中山間地域の振興について検討しています。

その取り組みの一つとして、青根地域の公共施設を生かした地域の振興に資する事業など、地域貢献や財政的な貢献につながる持続可能な取組を検討するに当たり、庁内検討では把握することが難しい市場性の有無や民間のアイデア等を聴取するため、民間事業者等の皆様との直接対話を行う、青根地域の公共施設を有効活用した事業提案募集及びトライアル・サウンディングを実施しましたので、その結果の概要を公表します。

1 実施経過

令和4年12月26日(月)	実施要領の公表
令和5年1月13日(金)、18日(水)、2月6日(月)	現地見学会の開催【参加団体：15団体】
令和5年1月20日(金)、25日(水)、2月13日(月)	事前相談の開催【参加団体：6団体】
令和5年4月6日(木)～17日(月)	対話の実施【参加団体：14団体】

2 調査内容

対象	旧青根中学校、旧青根小学校跡地、旧青根児童保育園、緑の休暇村センター、いやしの湯、津久井合唱館
主な対話内容	提案対象施設の有効活用について 希望する運営手法等について 地域貢献の提案について
対象者	提案を確実に実行する意思と能力(資格)を有する企業やNPO法人等の法人、団体等

3 結果概要

事業提案募集の結果については別紙のとおり。

なお、旧青根中学校でのトライアル・サウンディング(申込期間：令和5年1月13日(金)～令和5年2月28日(火))については、申し込みがありませんで

した。

4 今後の予定

今回の事業提案募集及びトリアル・サウンディングの実施の結果を踏まえ、青根地域の振興を図るため、青根地域の公共施設を有効活用した持続可能な取組について検討を進めてまいります。



お問合せ先

- 事業提案募集等に関すること
緑区役所地域振興課 042-775-8801
- 中山間地域対策全般に関すること
市長公室政策課 042-769-8203

青根地域の公共施設を有効活用した事業提案募集の結果概要

内 容	A社		B社		C社		D社		E社		
1 提案施設 ・活用範囲	○	①旧青根中学校 全体	○	①旧青根中学校 校舎	○	①旧青根中学校 全体	○	①旧青根中学校 全体	○	①旧青根中学校 全体	
	○	②旧青根小学校 全体	○	②旧青根小学校 体育館	×	②旧青根小学校 -	×	②旧青根小学校 -	×	②旧青根小学校 -	
	×	③旧青根児童保育園 -	○	③旧青根児童保育園 全体	×	③旧青根児童保育園 -	×	③旧青根児童保育園 -	×	③旧青根児童保育園 -	
	×	④緑の休暇村センター -	×	④緑の休暇村センター -	×	④緑の休暇村センター -	○	④緑の休暇村センター 全体	×	④緑の休暇村センター -	
	×	⑤いやしの湯 -	×	⑤いやしの湯 -	×	⑤いやしの湯 -	○	⑤いやしの湯 全体	×	⑤いやしの湯 -	
	×	⑥津久井合唱館 -	×	⑥津久井合唱館 -	×	⑥津久井合唱館 -	×	⑥津久井合唱館 -	×	⑥津久井合唱館 -	
	※旧青根中、旧青根小のいずれか		事業規模は旧青根中学校舎の一部使用程度								
2 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・葉物野菜等の水耕栽培とチョウザメの養殖(キャビア・魚肉) (水耕栽培と養殖を掛け合わせた環境保全型農業＝アクアポニックスを実施) ・葉物野菜はレタス等の他、苺なども栽培できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・きくらげの栽培、販売 ・きくらげの6次産業化(きくらげの加工販売のほか、地域食材とコラボした新商品の開発なども行う) 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに特化した寮完備のインターナショナルスクール ・開校当初は高等部からはじめ、将来的には中等部を含めた6年制の学校を目指す 		<ul style="list-style-type: none"> ①旧青根中学校 外国人留学生向け日本語学校(2年制) ④休暇村センター、⑤いやしの湯 リゾート温泉施設の運営(レストランやスパ、岩盤浴、テントサウナなどの設置を検討) 		<ul style="list-style-type: none"> ・映画、ドラマ、CM、YOUTUBE等の撮影ロケーション施設 ・地産食材を活用したロケ弁当の開発 		
	事業の継続性 ・実現性		<ul style="list-style-type: none"> ・既にチョウザメの養殖に着手している 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費地への近接性、地産地消の実現 ・きくらげ栽培のノウハウを有する人員がいる 		<ul style="list-style-type: none"> ・海外への進学や就職を目指す日本人学生や留学を希望する留学生からのニーズの高まり 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の大学進学や日本企業への就職を目指す外国人から日本語学校設置のニーズは高まっている ・法務省が定めた基準を満たした日本語学校(法務省告示校)の認定を受けている 		<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資が少額 ・動画配信サービスの普及やインターネット上の仮想空間(メタバース)などにより撮影施設へのニーズの高まり ・都心から近い中学校又は高等学校として活用できる撮影施設としての希少性
3 想定される 事業の実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学ツアー、観光農園、魚とのふれあい体験による交流人口増加 ・新たな特産品の創出(名産品としてのブランド化) ・次世代の循環型農業であるアクアポニックスの地域への展開 		<ul style="list-style-type: none"> ・収益性の高い農業として地域農業の活性化 ・栄養価の高いきくらげによる健康寿命の増進 ・新たな特産品の創出(希少な国産きくらげのブランド化) 		<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツチームや海外の大学への進学を見据えたグローバル人材の育成 ・地域に開かれた学校運営や交流促進による地域の活性化 		<ul style="list-style-type: none"> ・約100名の学生(住民)が増えることによる地域活性化 ・地域に開かれた学校運営や交流促進による地域の活性化 ・温泉リゾート施設化による集客力の増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地として聖地化されることによる来訪者の増加 ・地産食材のロケ弁当が出演者から発信されることによる地域の認知度向上等の効果 		
4 運営手法等	単独		単独 or 複数事業者		単独		複数事業者		単独 or 複数事業者		
5 施設の活用形態	賃貸借		賃貸借		賃貸借 その後購入を希望		賃貸借		賃貸借		
6 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の雇用 ・循環型の農業を地域の校外学習に活用できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の雇用 ・給食食材としての納品 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の雇用 ・学校の開校による地域との連携と地域活性化 ・スクールバスの地域住民利用(橋本⇄青根) ・校医による地域住民の健康相談 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の雇用 ・校内売店の地域住民利用 ・スクールバスの地域住民利用(藤野⇄青根) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地産食材の活用 ・撮影不使用時は地域に施設開放 		
7 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の研究機関との連携支援 ・セキュリティ確保のため地域センターと校舎の区分けが必要 ・旧青根中学校の避難所機能の継続は困難 		<ul style="list-style-type: none"> ・きくらげ栽培エリアへの立ち入りは不可 						<ul style="list-style-type: none"> ・旧青根中学校での撮影時は地域センターとの動線の区分けが必要 		

青根地域の公共施設を有効活用した事業提案募集の結果概要

内 容	F社		G社		H社		I社		J社	
1 提案施設 ・活用範囲	○ ①旧青根中学校	全体	○ ①旧青根中学校	全体	○ ①旧青根中学校	全体	○ ①旧青根中学校	全体	○ ①旧青根中学校	※
	○ ②旧青根小学校	全体	× ②旧青根小学校	-	○ ②旧青根小学校	全体	× ②旧青根小学校	-	× ②旧青根小学校	-
	○ ③旧青根児童保育園	全体	× ③旧青根児童保育園	-	○ ③旧青根児童保育園	全体	× ③旧青根児童保育園	-	× ③旧青根児童保育園	-
	○ ④緑の休暇村センター	全体	× ④緑の休暇村センター	-	× ④緑の休暇村センター	-	○ ④緑の休暇村センター	全体	× ④緑の休暇村センター	-
	○ ⑤いやしの湯	全体	× ⑤いやしの湯	-	× ⑤いやしの湯	-	○ ⑤いやしの湯	全体	× ⑤いやしの湯	-
	○ ⑥津久井合唱館	全体	× ⑥津久井合唱館	-	× ⑥津久井合唱館	-	○ ⑥津久井合唱館	全体	× ⑥津久井合唱館	-
									※校舎3階を除く全体	
2 事業概要	数日間滞在し心身ともにリフレッシュする(リゾート)場とする ①旧青根中学校 校舎:映画学校等研修施設、モノ作り等のワークショップ、コミュニティスペース、地域食材を活用したカフェ、新建材の展示、リベラルアーツ専門学校(※)、経営者等の研修リゾート施設 体育館:大規模な映画撮影スタジオ 校庭:環境に配慮したスポーツ施設 ②旧青根小学校:寮、宿泊施設 ③旧青根児童保育園:事務所 ④緑の休暇村センター:コテージの建て替え ⑤いやしの湯:交流サロン		・映画、ドラマ、CM、YOUTUBE等の撮影ロケーション施設 ・団体向け宿泊施設		林間リゾート(森での学び、リフレッシュ等)として森林保全活動や古民家活用などを行い、災害時は旧青根中学校を滞在拠点にする ①旧青根中学校:宿泊施設、コワーキング、ワークショップ、トレーニングキャンプなど ②旧青根小学校:グランピング(手ぶらで楽しむキャンプ) ③旧青根児童保育園:オーベルジュ(郊外にある宿泊施設を備えたレストラン)		青根地域の公共施設の包括的かつ連携した事業による再活性化 ①旧青根中学校:団体・個人宿泊施設、ワークショップスペース、校庭にも簡易な宿泊施設の設置、地域交流(キッズルーム、ミニカフェ)、防災協力 ④休暇村センター、⑤いやしの湯、⑥津久井合唱館:地域と共に運営に携わり更なる活性化		・アウトドア系のワークショップ、宿泊施設、スポーツ合宿など ・「昭和」をテーマにしたこども向けのイベント等	
	・既存スタジオの移設など、初期投資が少額 ・専門家による助言を得られる		・都市部に近接しているロケーション施設や企業研修などが可能な宿泊施設へのニーズの高まり ・初期投資及びランニングコストを抑えた効率的な事業運営による早期収益化(持続的な事業運営) ・廃校を活用した施設での事業実績あり(需要に供給が追いつかず事業拡大の意向)		・廃校活用実績のある専門家をはじめ、森林保全の専門家、著名なフレンチレストランのオーナーシェフなどが参画する		・廃校利用した事業運営実績あり(災害時に避難者の受入実績有) ・提案した施設間での運営の連携による全体コストの削減 ・地域や事業者など、旧青根中学校の施設の一部を利用したい者との連携		・中小企業診断士や商工会等の助言や協力を得られる	
3 想定される 事業の実施効果	・関係人口の増加 ・映画等の文化振興		・ロケ地として聖地化されることによる来訪者の増加 ・主に都心部からの関係人口の増加 ・地域の認知度向上		・森林環境を生かしたプログラムによる自然(森林)環境の保全 ・学校を拠点とした新たなまちづくり ・地域住民と来訪者の交流 ・関係人口の増加		・大学生や社会人などの来訪者の増加 ・移住する可能性のある運営スタッフの派遣		・体験型の学びの場(ワークショップ)の提供などによる関係人口の増加	
4 運営手法等	複数事業者		単独		単独		単独 or 複数事業者		単独	
5 施設の活用形態	賃貸借		賃貸借		賃貸借		賃貸借		賃貸借	
6 地域との連携	・地域人材の雇用 ・地域コミュニティの拡大		・地域の店舗を仕入等に活用 ・指定日にイベント開催などで一部開放		・地域の自然環境や食材などの活用 ・地域人材の雇用 ・地域コミュニティの拡大		・災害時の一時避難、宿泊設備、自炊施設等の協力 ・地域コミュニティの増進 ・地域人材の雇用		・地域と連携、協力した事業実施	
7 備考	・地域センターの機能を3階の交流スペースに移すことで地域との交流促進を検討 ※リベラルアーツ:幅広い知識を身に着け、生きるための力を身につける4年制の大学		・旧青根中学校内で地域センターを継続することは難しい				・地域センターは地域との協働利用を希望 ・旧青根中学校校庭の災害時ヘリコプター離発着場はミニ別荘を設置するため困難			

青根地域の公共施設を有効活用した事業提案募集の結果概要

内 容	K社		L社		M社		N社（参考提案）		O社（参考提案）						
1 提案施設 ・活用範囲	×	①旧青根中学校	-	○	①旧青根中学校	○	①旧青根中学校	技術室・美術室	○	①旧青根中学校	全体	○	①旧青根中学校	校庭	
	○	②旧青根小学校	全体	○	②旧青根小学校	○	②旧青根小学校	-	×	②旧青根小学校	-	×	②旧青根小学校	-	
	×	③旧青根児童保育園	-	○	③旧青根児童保育園	全体	×	③旧青根児童保育園	-	×	③旧青根児童保育園	-	×	③旧青根児童保育園	-
	×	④緑の休暇村センター	-	×	④緑の休暇村センター	-	×	④緑の休暇村センター	-	×	④緑の休暇村センター	-	×	④緑の休暇村センター	-
	×	⑤いやしの湯	-	×	⑤いやしの湯	-	×	⑤いやしの湯	-	×	⑤いやしの湯	-	×	⑤いやしの湯	-
	×	⑥津久井合唱館	-	×	⑥津久井合唱館	-	×	⑥津久井合唱館	-	×	⑥津久井合唱館	-	×	⑥津久井合唱館	-
	旧青根中学校の一部を活用（共同利用）することも検討		活動拠点は旧青根小、旧青根児童保育園。旧青根中は空いているときに使用希望												
2 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全教室 ・サイクリングイベント ・自然を活用した子ども向け体験プログラム ・自転車競技者育成のためのトレーニング施設 		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術家や音楽家など、アーティストの活動拠点 ・地域との芸術文化交流拠点 ・次世代人材の育成拠点 		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生に五感を使った体験を通して、シビックプライドの向上・SDGsへの関心の入口を担う、木育・食育ワークショップ実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア関係の複合施設（アウトドアショップ、宿泊施設、アウトドア活動拠点、サテライトオフィス） ・アウトドア初心者への支援や多様な活動の拠点とする 		<ul style="list-style-type: none"> ・キャンピングカー愛好者のための車中泊専用施設 						
	事業の継続性 ・実現性		<ul style="list-style-type: none"> ・国道413号線がオリンピック自転車競技コースとなったことでの機運の高まり 		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術家や音楽家などから、創作や練習と宿泊ができる場所へのニーズがある 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊かな場所での子どもたちの体験学習のニーズの高まり 		-						
3 想定される 事業の実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルツーリズムの促進 ・自転車愛好家の立ち寄りによる来訪者の増加 ・安全でエコなサイクルライフの実現 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽家、芸術家の活動拠点の確保 ・青根から世界へ向けた芸術文化の発信 ・芸術、文化での地域振興 		<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルSDGsの取組の推進 ・青根地域への来訪者の増加 		-		-						
4 運営手法等	単独		単独		単独		※事業は実施しない		※事業は実施しない						
5 施設の活用形態	賃貸借 3月～11月の一時利用		賃貸借 年数回の一時利用		年数回の一時利用		-		-						
6 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携、協力した事業実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽、芸術を青根から世界に発信することで地域がブランド化される。 		<ul style="list-style-type: none"> ・味噌作りなど地域との関りや連携 ・木育を通じた水源の保護 		-		-						
7 備考							※自らが実施主体とはならない提案のため参考提案とした		※自らが実施主体とはならない提案のため参考提案とした						